

第56回 佐賀県中学校総合体育大会



令和最初の中体連! 感動は無限大!!



発行所 佐賀市与賀町 1-24 佐賀県PTA連合会 ☎0952-22276 印刷 佐賀印刷社

発行責任者 会長 江田 明弘

語り合おう! 「家庭の日」 (毎月第三日曜日)



東原産舎東部校 大倉 樹乃

私達女子バレーボール部は、地区大会での優勝を目指して練習に取り組んできました。うまくいかないことやきついことも色々あったけど、いつも笑顔にさせてくれる仲間がいたから乗りこえられたと思います。中体連当日はとても緊張しま



国見中 山口 響

私達陸上部の目標は、九州大会、全国大会に出場することです。そんな大きな志をかえすために、私達は、励まし合い練習に取り組んできました。しかし、最初は心がまとまらず、チームがバラバラになることもありました。その一方で、大会で



鳥栖西中 中牟田寛大

鳥栖西中学校野球部は、九州大会出場を目指し頑張ってきました。部員数が多い中皆一人一人が自分の目標をたて日々努力しレギュラー争いをしてきました。練習試合では保護者の皆さん

した。思うような結果が出せず、悔しかったですが、最後まで諦めずプレーすることができました。今まで支えてくださった先生方、保護者、先輩や後輩には感謝の気持ちでいっぱいです。最後にバレー部のみんな、私がキャプテンを一年間して、全然足りないところばかりだったけど、ついてきてくれてありがとう。一緒にバレーができて楽しかったです。

一丸となって応援したり競技に集中したりしている仲間の姿に励まされ、嬉しくなることもありました。保護者さんや先生方に支えられてきました。だから、中体連という大きな舞台で輝いてすばらしい結果を残し、恩返しをしたいです。そのために、最後まで自分を信じて仲間と一緒にがんばりたいです。そして、一人一人が悔いの残らないすばらしい中体連にします。

に送迎や審判をしていただき、感謝の思いでいっぱいです。昨年の試合では、後一步で九州大会出場のところを惜しくも破れ悔しい思いをしました。中体連では、その悔しい思いをしたくないので、今まで頑張ってきたことを全力でだしきり、チーム一丸となって、一つ一つの試合を勝ち取ってきたい。



白石中 重富 一真

僕達白石中サッカー部は、県大会でベスト4以上の成績を取ることを目標に毎日の練習に取り組んできました。春にあった新人戦では初戦敗退をしてしまいましたが悔しくて勝つために必要な事を必死に練習し、最近



牛津中 円城寺孝亮

僕達牛津中サッカー部は、県大会優勝を目指し、日々の練習を高いレベルで行おうと心がけ頑張ってきました。中体連では自分達で良い雰囲気を作りながら、今までしてきたたくさんの経験を活かし、自分達のサッカーで勝ち上がっていきけるように頑張りたいと思います。



神埼中 菱岡なる美

中学校生活最後の夏が始まりました。私たち神中女子ハンドボール部では、春の全国大会でのベスト16の悔しさをバネにしてそれを超える、中体連九州大会優勝、そして全国大会出場を目標に、「チームは一つ」の心で日々の練習に取り組んできました。八人という少ないメンバーでも

少しずつ勝てるようになってきました。この状況に満足せず中体連では、しっかり結果を出せるように、いつも指導して下さる先生方、熱く応援して下さる皆さんへの感謝を忘れず、ここまで辛い練習を一緒に頑張ってきたチームメイトと最後に笑えるように、一戦一戦手を抜かず全力で頑張りたいと思います。

ます。そして、熱心に指導してください。先生方、陰ながら支えてくださった保護者のみなさんへの感謝の気持ちを忘れずに、応援してもらえらるチームとして勝ち上がっていくことができよう、技術とともに磨いてきた礼儀を会場などで発揮したいと思えます。サッカーを楽しみ、最後に最高の笑顔で終われるようにがんばります。

個々の力が集まれば、大きな力となり夢は夢のままでは終わりません。今まで私達のために指導してください。コーチ。厳しくも温かく見守ってください。先生。必ず全国大会への切符を勝ち取り笑顔で終わりたいです。そしていつも応援してください。保護者の方への感謝の気持ちを忘れず、佐賀県代表として胸をはれるよう頑張りたいと思います!!

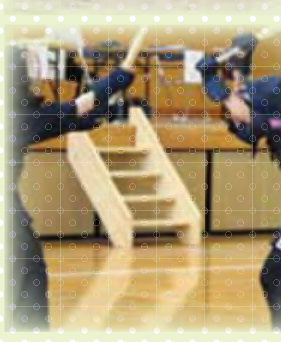


Table with 2 columns: 競技名 (Sport) and 成績一覧表 (Results). Lists various sports like Soccer, Basketball, Volleyball, etc., and the schools that performed well in each category.

Advertisement for 'ランドセル' (School Bag) featuring a cartoon character and text about school bags for elementary school children.

我が家には小学生二人と保育園児二人がいるため、朝の「行ってきます」「行ってらっしゃい」の挨拶は、毎朝慌ただしい中で交わされている。少しゆつくりとした朝ふと見ると、小学五年生になった長男のランドセルが小さくなっていくことに気が付いた。毎日見ていたはずの当たり前であった光景が、あと一年半しかないことを改めて実感した。夢と希望をランドセルに詰め込んで入学式を迎えてから数年、心も体も逞しくなり、卒業の方が近づいてきた今、どんな気持ちでいるのだろうか。子どもたちには、小学校の六年間で先生や友達、地域の方と接する中で、自分がかげがえのない存在であり、大事な命の時間を生きていくことを知って、「生まれてきて良かった」と思っ

「親子を育てよう!!」

困難を乗り越える子どもを育てよう～

各市郡連より
134名の参加者が
ありました。
アンケートのご協力も
ありがとうございました。



講演Ⅱ 講師
石橋 裕子様
(NPO法人佐賀県放課後児童クラブ 連絡会理事長)

演題 「母親の仲間づくりについて」
～トークフォークダンスで語り合おう～



講演Ⅰ 講師
柳原 志保様
(歌うママ防災士)

演題 「親子のきずな防災」
～もしもに備えるいっしょ～

講師の柳原先生は、東日本大震災と熊本地震と二つも大きな災害を経験した方でした。防災準備など何ひとつとしていなかった私ですが、万が一を考えて、家族一人一人のオリジナル防災バックを用意しようと思いました。



三日月中旬
三島 育代

先生のお話の中で、自分に必要な物は自分にしか分らない。避難所では物資はすぐに届かないし、ホテルや旅館



東原摩倉
西浜校舎
野田 ルミ

被災地の映像を観ては、胸をしめつけられる感覚に至り、何度涙がこみあげてきたのだろうか。この現実的な状況を今まで自分の事として捉え行

前に進む強い信念と決意を強く感じた。今の私たちに出来る事は何か？被災された方のご冥福と復興を祈ることだけでなく、防災に対する認識を強化することが重要である。守らなければいけない我が子の事を考えると、ひとりひとりが支えあうひとつの集団として、災害に対して敏感となり、日頃から防災を意識し普段の生活の中から備えていく必要がある。日頃の備えで、いざという時に親子の絆が功を結ぶことができるように生きる力を養っていききたい。

今年の研修のテーマは、「子どもの根っこを育てよう!」でした。講演Ⅰでは、講師の柳原志保さん。御自身の東北の震災を経験し、災害について、奥深い内容をお話して頂きました。最近、身近で災害が多く、沢山の被害者がおられます。柳原さんも、そのお一人であられ、大変な御苦労をされたんだなと心に感じました。講題は、「親子の



東脊振小P
米光 知子

「もしも」に備えること、そして生きる力を養うことが大事だと改めて感じました。石橋裕子先生のトークフォークダンスは初体験でした。一対一でテーマに沿って一分間話すというのですが、話し足りないほどでした。聞いてくれている安心感は伝えることが楽しくなります。子どもとの会話では一方的に指示だけで聞けないのではな

「歌うママ防災士」柳原志保先生の講話は、実際に体験をされているからこそその話で、身が引き締められるものでした。佐賀は地震が少なく、震災に対する意識が低いのが現状だと思えます。先生のお話を聞くことにより、どうやって家族を守るかを改めて考える

良い機会になりました。石橋裕子先生の講話は、「母親の仲間づくりについて」で最初に二重の円を作り、テーマに沿って正面の方と一対一でお話をするものでした。初めて会う方とお話するのは緊張するものですが、次のテーマが何になるのかなどを考えているうちに緊張することをお忘れしまい、次々と変わる相手の方とも楽しく話をすることが出来ました。

私は「いつくるかわからない「もしも」に備えることは難しい。「いっしょ」のなかで備えていくことが大切」との言葉がとても心に残りました。



鍋島中P
山口恵理香

柳原志保先生は二度の震災を経験されています。一度目の東日本大震災の時には備えていなかったために子ども達に辛い思いをさせてしまったとの後悔から「どんなひとにもできる防災」を伝えてくださっています。

田代小P
佐伯美由紀

「もしも」に備えること、そして生きる力を養うことが大事だと改めて感じました。石橋裕子先生のトークフォークダンスは初体験でした。一対一でテーマに沿って一分間話すというのですが、話し足りないほどでした。聞いてくれている安心感は伝えることが楽しくなります。子どもとの会話では一方的に指示だけで聞けないのではな

今回の研修会は、柳原志保先生、石橋裕子先生を講師に御招きし、有意義な時間を過ごさせて頂きました。柳原先生には、災害の経験を基に、「危険と役立つものに気づく目を親が子どもへ伝える大切さ」について学びました。普段、生活している中で潜む危険や

物の大切さを子どもへ伝えていく事で、助けてもらう側から助ける側へ子どもが成長できるような関わっていただけたいと思いました。石橋先生には、実際に会場で初対面の方々とトークフォークダンスを通して語り「聞く耳をもつ大切さ」について学びました。子どもと「共に学び、共に成長」できるように、日々を大切にすごしたいと思えます。貴重な講演、ありがとうございました。

母親研修会

令和元年7月11日(木)
佐賀市文化会館

研究テーマ

「子どもの根」

～優しく・思いやりがあり、し

今年の母親研修会も、定着させたいとの思いで去年と同じテーマにしました。午前中は、「歌うママ防災士」柳原志保様の講演でした。東日本大震災を経験されていて、その視点からの言葉が沁みました。防災グッズを作ったり、ゲーム形式もあり、貴重なお話ばかりでした。大事なことは、普段からしている事が防災になるように備えておくということ。家族の会話や、物の備えは心の安心につながる事。お母さんの立場からも、子どもにいつも小銭を持たせておく事、子ども自身が自分で考えて動けるようにしておく事が大事だとも言われました。



佐志中P
石山 恵美



伊万里中P
田中 真紀

あなたは防災してありますか？柳原さんの問いかけに、私は準備しようとは思っているけど、何をしたらいいんだろう、と心の中で言い訳をしていました。これだけ日本各地で起こっている事なのに、私には関係ないとか他人事だと思っていたのだと思います。



有田中P
中山真由実

「歌うママ防災士」柳原先生の講演をお聴きし佐賀県では近年大きな災害がなく、こんな時こそ防災備えが大切だと思えました。体験・教訓を通して今すぐ出来る防災・情報収集・命の守り方を伝えて下さいました。災害時の対応として、いざという時の判断・行動に繋げ、速やかに逃げるなど気づきました。私の家庭では避難場所の確認と防災グッズの準備を行うことにしました。先生の美声にもとても感動しました。

今年度の母親研修会も、定着させたいとの思いで去年と同じテーマにしました。午前中は、「歌うママ防災士」柳原志保様の講演でした。東日本大震災を経験されていて、その視点からの言葉が沁みました。防災グッズを作ったり、ゲーム形式もあり、貴重なお話ばかりでした。大事なことは、普段からしている事が防災になるように備えておくということ。家族の会話や、物の備えは心の安心につながる事。お母さんの立場からも、子どもにいつも小銭を持たせておく事、子ども自身が自分で考えて動けるようにしておく事が大事だとも言われました。

インターネット等で敏感になるようにともあり、でも私はスマートフォンでも電話とラインしか出来ません。同じような高齢者の方たちの気持ちに寄り添って、いざという時には助け合えるように日頃からしていこうと思います。午後は、NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会理事長の石橋裕子様を迎えて、母親の仲間づくりとしてトークショーで、会場では椅子を向かい合わせで丸くなり、全員で回りながら語り合いました。皆さん初めて会った方と、恥ずかしさや苦手な気持ちはあつたと思いますが、笑顔で話していくうちに最後は仲良くなっていらいっしょな姿を見たら、顔と顔を合わせて話すのがやっぱり大切だと感じました。

講演を聞いて一番驚いたのは、災害時に避難しても、すぐに支援物資、食べ物、飲み物はこないということでした。恥ずかしながら、私は避難所に行けば、食べ物も誰かが持ってきてくれる、誰かが助けてくれると思っていました。受け身ではなく自分でできることをやりましょう！柳原さんに言われたことを継続していきたいです。とても充実した研修会でした。

柳原先生のお話の中で、「もしもに備えるいつも」という言葉が印象的でした。全国各地で起こる様々な災害を報道で見る度、「大変そう。」「かわいそう。」「と思うことはあっても、自分に置き換えて考え行動することはありませんでした。今回の講演を聞き、日

誰もいなかったら恥ずかしいという意見が出た時は、その通りと思いました。でも、みんなが被災者と考えると、早目の避難で避難所の仕事を手伝うという事も出来るのではないかと思います。いつ災害が起きるか分からないので、子どもに備えの大事さを話し、自分で出来る様に伝えていきたいと思えます。本当に実り多い一日でした。ありがとうございました。

柳原先生のお話では、防災について考える事が出来ました。二度の震災を経験されているから備えの大切さ、自分に合った備えをする、自分の身は自分で守るという事を話されました。避難についてもお話され、どのタイミングでするかを考え、避難しても

佐賀県教育週間 県P一斉取り組み活動

PTAみんなで 取り組みましょう!

ノーテレビ・ノーゲームデー

携帯からのアクセスは

期日 令和元年11月1日(金)

主催 佐賀県PTA連合会

目的 この日は、テレビやゲームをやめて家族で子どもたちとふれあい、語り合う時間を工夫し、それぞれに楽しい時を過ごしましょう!

上峰小P 江頭 麻美

「歌うママ防災士」柳原志保さんは、東日本大震災と熊本地震を経験され、沢山の知識と心構えを教えてくださいました。新聞スリッパづくり、ポリ袋ポンチョ、誰でも簡単に作れるもの作り体験。中でもクロスロードというカードゲームでは、参加者同士が意見交換をし、災害について深く考えさせられました。もしもに備えるいつも防災を「もしも」といった特別なことにとらえないで、「いつも」の生活の中に意識して、防災と向き合う事が大切だと知りました。防災グッズは、意外と身近なもので代用できたりできるので、持ち物を見直して、自分だけのオリジナル防災バッグを作りたいと思っています。

能古見小P 井上 範子

柳原先生のお話の中で、「もしもに備えるいつも」という言葉が印象的でした。全国各地で起こる様々な災害を報道で見る度、「大変そう。」「かわいそう。」「と思うことはあっても、自分に置き換えて考え行動することはありませんでした。今回の講演を聞き、日頃から特別な備えではなく、日常生活の延長線に備えのきつかけがあることを学び、家族で防災について考え、出来ることからやってみようと思えました。

初対面の方との一分トークでは、緊張や驚きの中多くの方と会話を通して、仲間作りの大切さを学びました。今回の研修に参加し、とても有意義な時間を過ごせたことに感謝しています。

大町 ひじり学園P 塚野久美子

柳原先生のお話では、防災について考える事が出来ました。二度の震災を経験されているから備えの大切さ、自分に合った備えをする、自分の身は自分で守るという事を話されました。避難についてもお話され、どのタイミングでするかを考え、避難しても

佐賀県私立中学高等学校協会

シガクでエガク ワタシの未来

私立高校生徒募集のお知らせ!

	龍谷	佐賀清和	佐賀女子	佐賀学園	北陵	敬徳	弘学館	東明館	早稲田佐賀
学科名	特別進学科 普通進学科	特別進学科 探究文理科 普通科 情報ビジネス科	食物科 トータルビューティ科 普通科 衛生看護科	成瀬高等部(特別進学) 普通科 商業科 情報処理科	電子科 電気科 建築科 土木科 自動車科 航空科 生活文化科	普通科 自動車整備科	普通科	普通科	普通科
出願期間	前期:1月9日(木)~1月10日(金) 後期:1月23日(木)~1月24日(金)	前期:1月9日(木)~1月10日(金) 後期:1月23日(木)~1月24日(金)	前期:1月9日(木)~1月10日(金) 後期:1月23日(木)~1月24日(金)	前期:1月9日(木)~1月10日(金) 後期:1月23日(木)~1月24日(金)	前期:1月9日(木)~1月10日(金) 後期:1月23日(木)~1月24日(金)	前期:1月9日(木)~1月10日(金) 後期:1月23日(木)~1月24日(金)	未定	推薦:12月9日(月)~12月25日(木) A日程:12月9日(月)~12月25日(木) B日程:1月14日(火)~1月25日(土)	未定
試験日	前期:1月16日(木) 後期:1月30日(木)	前期:1月16日(木) 後期:1月30日(木)	前期:1月16日(木) 後期:1月30日(木)	前期:1月16日(木) 後期:1月30日(木)	前期:1月16日(木) 後期:1月30日(木)	前期:1月16日(木) 後期:1月30日(木)	1月16日(月)	A日程:1月5日(日) B日程:1月29日(水) (推薦は12/26)	1月入試:1月12日(日) 2月入試:2月15日(土) (推薦は12/15)
備考			普通科音楽コース・美術コースは、筆記試験等の翌日に実技試験を実施します。 前期:1月17日(金) 後期:1月31日(金)		推薦及び奨学生採用試験は、前期試験で実施します。奨学生採用試験は後期試験でも実施します。	前期試験は、推薦・特待生採用及びA Oの試験となります。 ※通信制課程有		出願期間はWeb出願、郵送出願、窓口出願で異なります。	
電話番号	(0952)24-2244	(0952)37-5400	(0952)24-5341	(0952)30-4281	(0952)30-8676	(0955)22-6191	(0952)98-2161	(0942)92-5775	(0955)58-9000

※詳細については各学校にお問い合わせください。

佐賀県私立中学高等学校協会 TEL 0952-37-9181 佐賀市水ヶ江3丁目1-25(龍谷中学校・高等学校内)



子育てにおける父と母の守備範囲や役割は、家庭の事情で大きく違い、成長に伴って変化していくものです。その場面に合わせて柔軟に対応できるように、日常生活の中で共感・共有できる何かを持っておくこと、言葉以上の何かを少しでも感じ取ってもらえる時間をつくることを心がけています。

有明南小P 西村 博幸

私には四人の子どもがいます。上三人は成人しましたが、末の子は小学三年生。思うようにいかない子育てに悩む中、母の日に、息子から似顔絵のプレゼントがありました。そこには「①つもありがとう・②がおでいてね・③マンスだね」という文字。頭文字は、私が指導しているJr. バレーボールチームの名前になっています。自分だけが息子の成長を応援していたつもりが、私を応援してくれている息子とその願いに気づかされました。「子育ては親育て」と言います。忙しい毎日でも、目と目を合わせて過ごす時間を少しでも作ることで、親子の絆が深まっていくのではないのでしょうか。息子のおかげで、私の子育てはまだ続きます。共に成長することを願って、また笑顔で頑張ろう！と思うこの頃です。

立花小育 福井 伸子

子育て応援メッセージ

子育て応援メッセージ

- つながる！ 笑顔でね
- 育もつ！ 食卓でつくる 家族の絆
- 受けとめよう！ 子どもの心メッセージ
- 伝えよう！ 感謝の気持ち ありがとう
- 見守ろう！ 地域ぐるみで 輪になって
- 話し合おう！ ルールを守って 情報モラル

北明小学校のPTA活動

北明小P 会長 山口 真

本校がある白石町は、佐賀県の南西部に位置しており、広大な白石平野の中でも有明海に面した地域となっています。また、この地域は農業が盛んな地域で、「レンコン」、「玉ねぎ」は県内外にも知られる国内有数の産地であります。

私達のPTA組織、総務委員会は、PTA教育講演会の実施や北明小秋祭りの運営等を行っており、母親委員会では、児童に本を読み聞かせる読語りへの参加や秋祭りで行うバザーの実施等を行っております。

なお、本地域では農道、農業用水路が網の目のように整備されており、そこを通過して通学する児童にとっては、信号機の無い交差点やコンクリートで整備

牧島小学校の育友会活動

牧島小育 会長 松尾 千穂

牧島小学校は、伊万里市中部に位置している、全校児童六十名の学校です。牧島小学校区住民のご協力の下、牧島小育友会を組織しています。大会や行事のときには、会員総出で盛り上げる団結の強さが自慢です。校区には、カブトガニの産卵地である、天然記念物に指定されている、多々良海岸があります。カブトガニのふるさとを守ろうと、牧島小では六年生が中心となって、多々良海岸清掃やカブトガニの幼生飼育・放生会を行っています。また、校区に

なると、多々良海岸清掃やカブトガニの幼生飼育・放生会を行っています。また、校区に

は江戸時代から続く伝統芸能「牧島浮立」があります。育友会では、牧島浮立の保存活動として、運動会で全校児童の浮立発表を行っています。浮立の中心となる笛や太鼓、鉦を担当する高学年は夏休みにも練習を行います。そこで、育友会が練習日程を組んだり練習への参加を呼びかけたりしています。浮立の練習を通して、児童は地域のつながりや文化継承の意義を感じ取っています。

本年度、育友会では学校と協力して、情報モラル教育に力を入れていきます。六月には、「子どもをネットトラブルから守るために」と題し、講師を招いて

された水路等、重大な事故に繋がる危険箇所が多数ござい

そこで、父親委員会では、信号機の無い交差点には「ストッブマーク」なる両足を揃えた足型を設置し、通学路と交差する主要な道路には「子供に注意」看板の設置など、児童とドライバーの双方に注意を促せるような通学路づくりを行っております。また、水路にはポリタンクを設置する事で万が一の事態に備える活動も行っております。

本校が県内でも数少ない自転車通学のある学校となっておりますが、私が小学生の頃よりも以前から今日まで、重大な事故

等もなく、安全・安心な通学体制を引継いでくる事が出来ました。これもひとえに、歴代の先輩方並びに地域の皆さまが、公私を問わず子どもたちを見守って頂いたおかげだと思えます。

少子高齢化に伴い、「今更だ出来ていた事」が将来難しくなる事は容易に予想されます。今後は他地域のPTAと交流を図りながら見分を広め、本地域に合う活動は積極的に取り入れて、より良いPTA活動を目指していききたいと思います。

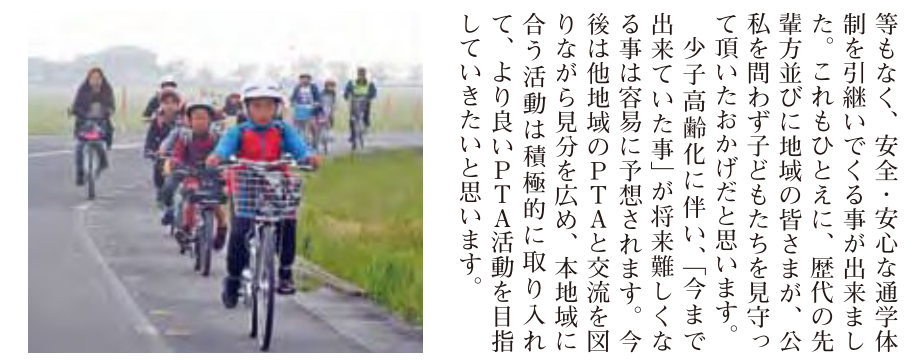
特色ある単Pの活動

～杵島郡・伊万里市編～ Vol.60



講演会を行いました。学校で行った「SNS等についてのアンケート」から児童の実態を分析・考察し、広報誌で紹介しました。毎月一日の「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデー」の取組も、今以上に推進していきたいと思えます。

これからも、学校や地域と連携・協力しながら、よく学び、心豊かで、たくましく生きる「牧島っ子」を育てていきたいと思



佐賀県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様の「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先： **0120-228-553** 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン) 受付時間:平日午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く。)

○制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

2019年8月現在の内容です。